

上映と  
トーク  
**未来をつくる人と場**

山形国際ドキュメンタリー映画祭2025プレ・イベント  
「一年まえのヤマ開き」  
X  
山形県立図書館オータムフェスタ



何も知らない夜 監督:パヤル・カパーリヤー

山形国際ドキュメンタリー映画祭2023 インターナショナル・コンペティション  
ロバート&フランシス・フラハティ賞(大賞)



**10月13日**[日] 山形県生涯学習センター  
**遊学館ホール** [山形市緑町1-2-36]

主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

共催:山形県立図書館



ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス 監督:フレデリック・ワイズマン  
山形国際ドキュメンタリー映画祭2017 インターナショナル・コンペティション

## 10:00 何も知らない夜

山形国際ドキュメンタリー映画祭2023 インターナショナル・コンペティション ロバート&フランシス・フラハティ賞(大賞)  
第74回 カンヌ国際映画祭リュドール(最優秀ドキュメンタリー賞)  
監督:パヤル・カパーリヤー/インド、フランス/2021/100分  
日本語・英語字幕つき



映画を学ぶ学生のLが恋人へあてた手紙が学生寮の片隅で発見された。女性の朗読に託された架空の物語は、Lの恋愛の破局の背後にあるカースト制へと導かれ、さらに2016年に実際に起こった政府への抗議運動、極右政党とヒンドゥー至上主義者

による学生運動の弾圧事件へと接続され、フィクションと現実が境界をなくしていく。本年5月に開催された第77回カンヌ国際映画祭で最高賞に次ぐグランプリを受賞した『All We Imagine as Light』(2024)で注目を集めるパヤル・カパーリヤー監督が、抵抗する者たちの情熱や信念、映画作家たちの意志の記録とともにインドの現在を描き出す。

### 上映後トーク

黒岩朋子(アートコーディネーター)

森美術館のアシスタント・キュレーターを経て、2009~2018年ニューヨークに在住。在印中は現地から現代美術情報を美術雑誌で紹介するほか、日本の展覧会に向けた現地調査や制作に携わる。帰国後は、展覧会の制作コーディネートを中心に活動。主なものに国際芸術祭「あいち2022」、ベネッセアートサイト直島で開催中の「Ring of Fire—ヤンの太陽 & ウィラセタクンの月」などがある。



藤井美佳(英語・ヒンディー語字幕翻訳者)

劇場公開作品、映画祭・配信・DVD/BDなどの映画やドラマの映像翻訳を手がける。代表的な字幕担当作品は『ガンジスに還る』、『ガリーボーイ』など。「バーバリ」シリーズ、『RRR』などラージャマウリ監督作品の翻訳も多数。『何も知らない夜』の字幕翻訳も担当。



## 13:15 ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017  
インターナショナル・コンペティション  
第74回ベネチア国際映画祭 国際批評家連盟賞  
監督:フレデリック・ワイズマン/アメリカ/205分/日本語字幕つき



世界中の図書館員の憧れの的である世界屈指の知の殿堂、ニューヨーク公共図書館。19世紀初頭の荘厳なボザール様式の建築物である本館と92の分館に6,000万点のコレクションを誇り、地域住民や研究者

たちへの徹底的なサービスでも知られている。『チチカット・フォーリーズ』(1967)以降さまざまな角度からアメリカを見つめた傑作を発表し続けるフレデリック・ワイズマン監督(『パリ・オペラ座のすべて』(2009)、『ナショナル・ギャラリー 英国の至宝』(2014)、『至福のレストラン 三つ星トロワグロ』(2023))が、資料や活動に誇りと愛情をもって働く司書やボランティアの姿をはじめ、観光客が決して立ち入れない舞台裏の様子を記録し、公共とは何か、そしてアメリカ社会を支える民主主義とは何かを浮かび上がらせていく。

### 上映後トーク

大川景子(映画編集者)

編集を担当した近年の主な作品に『ケイコ 目を澄ませて』(2022/三宅唱監督)、『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』(2022/金子由里奈監督)、『彼方のうた』(2024/杉田協士監督)、『夜明けのすべて』(2024/三宅唱監督、監督作に『Oasis』(2022/YIDFF2023日本プログラム)などがある。東北芸工大でもドキュメンタリー映画の授業を担当している。



猪谷千香(文筆家)

新聞社の文化部記者を経て、「ハフポスト日本版」創設時のリポーターなどを歴任。現在は弁護士ドットコムニュース記者。主な著書に『つながる図書館 コミュニティの核をめざす試み』(ちくま新書)、『町の未来をこの手でつくる』(幻冬舎)、近著に『ギャラリー—スーカ—美術業界を蝕む女性差別と性被害』(中央公論新社)、『小さなまちの奇跡の図書館』(ちくまプリマー新書)がある。



料金(1作品):当日 1,000円/オンライン購入 900円(9月18日より販売! [www.yidff.jp](http://www.yidff.jp))

学生・障がい者及び付き添いの方1名(当日窓口のみ)750円 ©高校生以下無料(要学生証提示)

問合せ:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 Phone: 023-666-4480 E-mail: info@yidff.jp

フレデリック・ワイズマン・マラソン in 仙台

10月11日[金]—14日[月・祝] 宮城大学、東北大学、せんだいメディアテーク

『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』は10月11日[金]に宮城大学でも上映があります。

『至福のレストラン 三つ星トロワグロ』

10月11日[金]—17日[木]

フォーラム山形にて公開

山形国際ドキュメンタリー映画祭2025  
YAMAGATA International Documentary Film Festival

2025年10月9日[木]—16日[木]

2年に一度、世界中から映画と人が集まる映画祭は来年10月開催。作品募集中。

[www.yidff.jp](http://www.yidff.jp)